



大北小だより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

12月号

平成24年 12月 3日

練馬区立大泉北小学校

校長 小島 英樹

“大北小スタンダード”で育て、高める

校長 小島 英樹

「よろしくお願いします。」(礼・握手)

(円陣を組み)「パスを回して、全員がゴールを決めるぞ！」

「オーッ！」(ハイタッチ)

体育授業でゲームをする子供たちが、互いにかけてあう挨拶の言葉や“ファイトコール”の場面です。

本校は、平成23・24年度練馬区教育委員会教育研究校ならびに平成24年度東京都スポーツ教育推進校として、11月22日(木)に研究発表会を開催し、公開授業ならびに研究発表を行いました。

私達が大切にしたのは、子供たちが1時間の授業に対して、明確な学習目標を意識することでした。そのことによって、自分の技能や体力を高めるための方法を工夫したり、友達とよりよくかかわったり、コミュニケーションを深めたりして、互いに学び合いながら高まっていこうとする意欲を向上させられると考えたからです。

同時に、体育授業における正しい服装や挨拶、整列や行動の仕方など、体育学習に向かう基本姿勢を「大北小スタンダード」として具体的に示しました。そして、すべての学年・学級で教員が共通に指導することによって、他教科の学習にもつながる学習姿勢の基礎を培っていこうとしました。冒頭に紹介した一コマは、その一例です。

当日は、区内外から200名を超える参会者を迎え、子供たちの生き生きと運動する姿と本校教員によるわかりやすい発表で好評を得ることができました。

また、研究発表会開催に際しましては、PTAをはじめ多くの保護者の皆様のご協力・ご参加をいただき、心よりお礼申し上げます。

これからも体育授業の一層の充実を図るとともに、「運動貯金」や「大北小チャレンジカード」などの運動の日常化や、大北小伝統の「マラソン大会」、さらに大学と連携した運動量調査などを通して、子供たちの運動量確保と体力向上を推進し、生涯にわたって運動に親しむ子供の育成に取り組んでいきます。

そしてこのことを通して、授業態度の改善や学習意欲の向上、友達とのよりよい人間関係づくりなど、学校生活全体の向上を図っていききたいと思います。

「マラソン大会にむけて」 体育的行事担当委員 矢作 良輔

大北小の冬の恒例行事、マラソン大会が近づいてきました。先週から各学年が体育の時間練習したり、毎日の中休みには“マラソンタイム”に全学年が音楽に合わせて校庭を走ったりするなど、熱心に練習する光景が見られ「今年も自己ベストをねらうぞ。」「最後まで走り切るぞ。」「がんばるぞ」とそれぞれに闘志を燃やして、友達同士で声をかけ合って練習しています。

保護者の皆様方、当日は、ぜひ学校へ足をお運びいただき、子供たちへのあたたかいご声援をお願いします。

研究だより ～5年生 研究授業～

5年 鈴木 佳奈子

6月29日に、フラッグフットボールの研究授業を行いました。フラッグフットボールとは、アメリカンフットボールを簡易化し、子供でも楽しめるようにしたスポーツです。

作戦が重視されるスポーツで、チームごとに様々な作戦を考えて練習したり試合で実践したりしました。作戦の中では必ず一人一人役割があるので、ボール運動が苦手な子も活躍でき、作戦が成功したときにはチーム全員で喜びや達成感を味わうことができました。子供たちは徐々に「チーム全員が活躍する」ことを意識するようになり、チーム内で教え合う姿や「ナイス!」といった声をかけ合う姿がたくさん見られるようになりました。ボール運動が嫌いだった子が、フラッグフットボールを通じてボール運動を楽しめるようになるなど、子供たちが生き生きと楽しく授業に取り組む姿が印象に残っています。



生活科見学 (1年)

1年 藤田 ゆう

先月の16日に、生活科の体験学習の一環として、いもほりに行って来ました。

はじめは土の中がちりちりと埋まっているおいもを掘り出すのに、苦労している様子の子供たちでしたが、周りの土を根気よく掻きだし、途中で折ってしまうことなく、どの子も上手にたくさんのおいもを掘り出すことができました。

その後学校で、まずいもほりの様子を作文に書きました。長い作文を書くのは初めての1年生でしたが、掘り出したおいもの様子や、掘っているときに感じたこと、家に帰った後お家の人と話したことなどを生き生きと文章に表すことができました。さらに図工の取り組みとして、掘ってきたおいもを絵の具で描きました。おいもをよく見て、そっくりに描こうという目標で描いた絵は、どの絵からもおいもを掘り出した時の驚きと感動があふれていました。



12月行事予定表

今月の生活目標：身のまわりの整理整頓をしよう 遊び道具をきちんと片付けよう
そうじの後始末をきちんとしよう 教室や机の中を整理しよう

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 全校朝会 委員会活動 連合音楽鑑賞教室 (6年)	4 PTA美化デー	5 ユニセフ集会 4時間授業	6 収穫祭(5年)	7	8 土曜授業 水曜時間割 二分の一 成人式(4年)
9	10 全校朝会 安全指導 委員会活動	11 個人面談	12 児童集会 個人面談	13 マラソン大会 (1・2・3年) 個人面談	14 マラソン大会 (4・5・6年) 4時間授業	15
16	17 全校朝会 個人面談	18 避難訓練 個人面談	19 けやき班遊び 個人面談	20 社会科見学(5年)	21	22
23 天皇 誕生日	24 振替休日	25 全校朝会 B時程 給食終了	26 冬季休業日始 め	27	28	29

学校評価のお願い

11月26日に学校評価用紙を封筒に入れてお配りしました。大北小の教育活動がどう進んでいるのかを確かめるための大切な資料になります。締切日を12月7日(金)としておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。集計結果につきましては、後日、HPや学校便り特別号でお知らせいたします。

HPへのアクセス

ありがとうございます。カウンターの上がる速度が速くなっているのがうれしいです。今後も身近な情報や子供の作品、大切なお知らせなどをUPしていきますので、どうぞご覧ください。

記名のお願い

お願いばかりですみません。しかし、困っているのです。全校朝会でも看護当番から「持ち物に記名をするように」という話をしていますが、一向に無記名の落とし物が減りません。子供は、自分の着て来た物が分かりません。きっと、親が準備した服を半分寝ぼけ眼で着て来るからでしょう。物を大切にすることを教える観点からもすべての持ち物に記名をお願いいたします。

副校長通信

学校で指導していること

副校長 城崎 真

学校で指導していることはたくさんあります。大きく分けると2つです。学習面と生活面。学校は学問を学ぶ所ですが、社会性を学ぶ場でもあります。いろいろな個性をもった子供たちが大勢集まるところに学校の価値があります。学問を学ぶだけならば、家庭教師や塾の方が効率がよいことでしょう。しかし、授業でいろいろな意見が聞けたり、違う解法を知ることができたりというよさがあるのです。また、友達との意見や考え方の違いに気づき、折り合いを考え、どう行動するのがよいのかも学べます。あるクラスの学級通信を紹介します。

じょうぎを使うことの大切さ

最近の朝学習では、算数プリントに取り組んでいます。(中略)そこでみなさんのプリントを確認していて、あることに気づきました。それは、満点の人は、「全員」じょうぎを使っているということです。

定規を使うことをきちんと指導している教師とその言葉を信じて実行している児童。そのよい関係がよい効果を表している例です。